

～ 本気でやるから、おもしろい。

努力をしたから、涙がこぼれる。～

雲一つない秋晴れの下、第48回の運動会が、コロナ禍前と同じ内容で行うことができました。保護者の皆さんの参観人数こそ各家庭2名と制限させていただきましたが、入れ替えなどすることなく、全校児童・職員・保護者の皆さんで同じ時間を共有することができました。それは、3年ぶりのことでした。みんなで同じ時を過ごすこと、やはり「いいなあ！」と改めて感じました。

当日までの学習（あえて、“練習”でなく“学習”と書きます。運動会のためだけの練習ではなく、れっきとした体育学習だからです。）の過程があってこそその当日でした。様々な種目がありましたが、必死に走る姿・ニコニコ顔で踊る姿、指揮台の担任の先生をじっと見つめながら表現する姿などなど、どれも、一人一人が自分の精一杯の力を発揮した、身体いっぱいの躍動でした。それは、おもしろく、目頭が熱くなる、とても見応えのあるものでした。この時間を創り上げてくれた子どもたち、それを支えてくださったお家の方々、そして、日々、子どもたちと共に励んでくれた先生方に、感謝です！

ありがとうございました。

子どもたちもきっと、この運動会を十二分に楽しんでくれたことでしょう。それは、本気と努力の賜です。心にしっかりと焼き付けてほしいと思います。

大好きな運動会が終わってしまい、

ちょっぴり（いえ、本当はとーっても）寂しさを覚えるわたしです・・・。

